

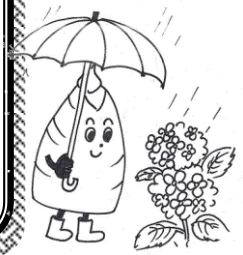
横浜市立



中川小学校だより 6月

令和8年5月29日発行

学校教育目標 人・自然・まちとふれあいながら、自分を高める中川の子



丸く滑らかな石のように

校長 東野 留美

初夏の陽ざしがまぶしく感じられる季節となりました。校庭の片隅では、1年生が大切に育てているアサガオの芽が、土の中からそっと顔を出し始めています。登校するとすぐに自分の鉢に駆け寄り、「出ているよ!」「大きくなってる!」と目を輝かせてのぞき込む1年生の姿に、私たちも思わず笑顔になります。小さな芽の誕生をこんなにも喜び、毎日心を寄せて見守る姿から、子どもたちの優しさや命を大切にする気持ちが育っていることを感じます。

さて、新学期から2か月が経ち、子どもたちの関わりも深まってきました。その一方で、時に感情がぶつかり合ったり、相手を傷つけてしまったりするような出来事が起きることもあります。それは、子どもたちが人との関係の中で学んでいる証でもあります。河原にある丸い石が、川の流れの中で何度も何度もぶつかり合ううちに、お互いの角が削られ、やがて触れても痛くない丸く滑らかな石へと姿を変えていくように、子どもたちもまた、関わりの中で自分や相手の気持ちに気づき、少しずつ心を育てていきます。自分の思い通りにいかない経験をし、相手を傷つけてしまった痛みにも気づき、「ごめんね」と心から謝る。そして、相手の失敗を受け入れ、「いいよ」と許す——。この「許し、許される経験」の積み重ねが、相手の立場に立って物事を考える「深い人間理解」へとつながっていくと考えます。私たち教職員は、一人ひとりの心の成長を支える伴走者でありたいと願っています。うまくいったときも、うまくいかなかったときも、その経験に寄り添い、受け止め、ともに考えながら、人との関わりを深められる環境をつくってまいります。

しかしながら、関わりの中で深く傷つき、学校生活に不安を抱くことがないよう積極的に関与することも必要だと考えます。本校では、毎月の「あんしんアンケート」に加え、5月と12月に「いじめ早期発見のためのアンケート」を実施します。その後全員の児童と教育相談（ミニ面談）を行い、いじめの早期発見、早期解決に努めます。ご家庭におかれましても、心配な様子があるときは、早期に相談していただくと幸いです。事案の背景を聞き取りながら、子ども達が互いの思いを理解し合えるよう支援します。

最後になりますが、先週の金曜日に全家庭へ学校説明会資料を送信いたしました。学校教育目標「人・自然・まちとふれあいながら、自分を高める中川の子」の実現に向けた具体的な取組をお伝えしております。丸く滑らかな石のように、自分や相手の気持ちに気づき成長していく子どもの育成に努めてまいります。引き続き、本校の教育活動にご理解、ご協力をよろしく願いいたします。



成長を願って毎朝水やりをしています!